

週報 第3354回

会 長 川端 徹 副会長 中 透・南出 和成
幹 事 山本 博章 SAA 道正田 均

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会 (2026年10月16日) 第3354回

■ プログラム

卓話担当 岡本 笑明 会員
卓話講師 一般社団法人 ロングスプーン協会
会長 橋本 展行 様
「見えない真実/子ども達に何を残すのか」

■ 次週のプログラム

10月23日: ガバナー公式訪問

■ 今後の予定

10月30日: 卓話担当 小野寺 巧 会員

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

手に手つないで

今月の歌

ふるさと

うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき ふるさと

■ 先週の例会

会長の時間



川端 徹 会長

本日は、この後、社会奉仕委員会のクラブフォーラムが予定されていますので、それに関連して少しお話ししたいと思います。

ロータリーでは10月を「地域社会の経済発展月間」と「米山月間」としています。

世界に目を向けますと、貧困の削減や、十分なサービスが届いていない地域に経済的な機会をつくるため、職業訓練や小規模事業への支援、地域の資源を活用した起業家の育成など、さまざまな活動が行われています。

ここで思い出す言葉があります。

「Give a man a fish and you feed him for a day. Teach him how to fish and you feed him for life time.」すなわち、「魚を与えれば、その人は一日食えることができる。しかし魚の釣り方を教えれば、一生食べていくことができる。」

よく知られた言葉ですが、「地域社会の経済発展」というロータリーの考え方にも通じるものがあるように思います。

もちろん、困っている方に寄付をしたり、必要な物資を届けたりすることは大切な奉仕です。しかし、それだけではなく、地域に暮らす人が自分の力で働き、仕事をつくり、生活を支え、そして次の人を支えていけるような環境をつくる。そこまで考えることが、持続可能な地域社会への奉仕ではないでしょうか。

では、私たち泉大津ロータリークラブには何ができるでしょうか。

ロータリークラブには、さまざまな職業を持った人が集まっています。

企業経営、金融、建設、不動産、医療、福祉、教育など、それぞれの分野で長年培ってきた知識や経験があります。

私は、この「職業の多様性」こそが、ロータリーの大きな財産ではないかと思っています。

例えば、地域の子どもたちや若い人たちに、自分たちの仕事について話す。これから起業しようとする若い人に、経営者として経験してきたことを伝える。地域で頑張っている企業や商店、活動している人たちを紹介する。

一つ一つは小さなことかもしれませんが、人と人をつなぐことで、新しい仕事や活動が生まれることもあります。

ちょうど私たちも、FMいずみおおつで「手に手つないで～泉大津から広がる輪～」という番組を始めます。

この番組でも、地域で活躍しているさまざまな方に登場していただき、その活動や仕事、そして泉大津への思いを語っていただきたいと思います。

これも考えてみれば、単なる広報活動ではなく、地域の人と人をつなぎ、地域にある魅力や力を知ってもらうという意味で、一つの社会奉仕につながっていくのではないのでしょうか。

私たちは社会奉仕というと、つい「ロータリーとして地域に何をしてあげられるだろう」と考えます。

しかし、少し見方を変えてみると、泉大津にはすでに多くの人材があります。企業があります。商店があります。技術があります。そして、だんじりをはじめとする歴史や

文化があります。

つまり、地域にはすでにたくさんの「宝物」があるわけですね。

ロータリーの役割は、何かを一からつくって地域に与えることだけではなく、そうした地域の宝物を見つけ、それぞれを「つなぐ」ことにもあるのではないのでしょうか。

人と人をつなぐ。

職業と職業をつなぐ。

若い世代と経験豊かな世代をつなぐ。

そして地域とロータリーをつなぐ。

そのつながりの中から、新しい活動や仕事生まれ、地域が少し元気になる。

それもまた、「地域社会の経済発展」であり、泉大津ロータリークラブらしい社会奉仕ではないかと思います。

本日の社会奉仕委員会のクラブフォーラムでは、「何か新しい奉仕活動をしなければならない」と難しく考えるだけではなく、

「泉大津にすでにある力を、ロータリーとしてどうつないでいくことができるか」

という視点からも、皆さんの自由なご意見をお聞かせいただければと思います。

私たちの番組のタイトルではありませんが、「手に手つないで」、泉大津からさらに大きな輪を広げていく。

そんな社会奉仕について、今日は皆さんと一緒に考える時間になればと思います。

本日のクラブフォーラム、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

山本 博章 幹事

- 皆様の各テーブルに、ガバナー月信10月号を置かせていただいておりますので、お読み下さい。
- 次週10月9日(金)の例会は、定款第7条第1節の規定により休会となっておりますので、ご留意下さい。
- 皆様のメールボックスに、今年度前期会費納入のお願いと請求書を入れさせていただいております。納入期限は11月27日(金)とさせていただきますので、よろしくお願い致します。
- 2026-27年度米山月間資料の豆辞典も入れさせていただいておりますのでご一読下さい。
- 高石ロータリークラブ例会変更のお知らせ
10月13日(火)の例会は休会。
- 本日例会終了後、くすのきの間にて 第5回理事役員会がございますので、関係者の方はご出席よろしくお願い致します。

委員会報告

- ロータリーの友10月号の読みどころの紹介。
(中田 広宣 会報・IT委員長)
- 本日メールボックスに、社会奉仕委員会から、工場見学のご案内をさせていただいております。10月30日(金)例会終了後、レイクアルスター前をバスで出発します。場所は、青木松風庵 月化粧ファクトリーです。皆さん、奮ってご参加よろしくお願い致します。(藤野 修次 職業奉仕副委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数39名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
10/ 2	31名	8名	—	79.49%
9/18	32名	7名	3名	89.74%

■ メークアップ

榎本(9/17 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
細川、杉本(10/2 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・本日の社会奉仕委員会のクラブフォーラム、川崎委員長 皆様、宜しくお願いします(川端)
- ・川崎社会奉仕担当理事、本日のクラブフォーラムよろしくお願い致します(山本)
- ・川崎さん、本日のクラブフォーラムよろしくお願い致します(道正田)
- ・誕生日のお祝いありがとうございました。道正田さん、早くSAAなれて下さいね(西端)
- ・欠席のお詫び(丹農)
- ・例会欠席のおわび(今井(克))
- ・早退のおわびです(寺田)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	211,000円

■ 祝 誕生日



西端 政博 会員(3日)
森口 和信 会員(13日)

先週のプログラム

クラブフォーラム



川崎 久典 社会奉仕部門担当理事

13:00 今回のクラブフォーラムの趣旨説明及び進行について(担当:川崎)

(川崎) 今回のクラブフォーラムは、今までの理事が一人でしゃべる形ではなく、本来のクラブフォーラムに近い討論会形式で行いたいと思います。私が社会奉仕部門の理事になって、数カ月のうちに初めて知ること、判断に迷うことが多々ありました。特に2期前の予算が40万円に対し、予算割当が26万円と減少した中で、どの事業を行っていくか、調整に苦労致しました。特に協賛については今回「GOフェス」などの新規協賛についても、理事会での承認は頂きましたが、最後までこれでよかったのかと考えていました。本来はフォーラムとしては2〜3時間必要ですが、今回は30分と時間も少ないので「各種団体への協賛する時のポイント」に絞り、あらためて皆様の意見を拝聴させていただければと考えております。今年度の協賛については、次の通りです。

- ・泉大津未来ビジョン 5万円
- ・GOフェス 3万円
- ・泉大津ダンス&マルシェ 3万円
- ・共同募金(赤い羽根) 2万円

各テーブルに「ロータリーの7つの重点分野の資料」を置いてありますので、参考にいただければと思います。各テーブルに社会奉仕委員がおりますので、委員の方はディスカッションの進行役及び発表をお願いします。それでは、ディスカッションをスタートしてください。

13:03 テーブルディスカッション

13:15 各テーブルから1名発表(発表は1分程度)
各テーブルからの意見(順不同)

- ・過去のしがらみで継続しているものもあり、見直してみてもどうか
- ・7つの重点項目にこだわらず、泉大津ロータリーとして地域社会に貢献できるものであればよいのでは。
- ・共同募金などは今回の着服報道などもあり、見直してもよいのでは。
- ・フードリボンは出店店舗としても負担が重い
- ・泉大津だけでなく忠岡まで事業対象の範囲を広げてよいのでは。
- ・事業範囲を忠岡まで広げることで会員増強につながるができる。
- ・協賛している事業について、内容がわからないものもある。
- ・未来を担う子供を中心に考えてはどうか
- ・継続していくことも大事
- ・協賛するだけでなく、協賛した現場も見たい。
- ・言われたら協賛(寄付)するのではなく、ロータリーとしてコンセンサスが取れ納得できるものに出すことが必要ではないか。
- ・過去の会長などのしがらみで継続しているものもあるので、一度全部見直すことも必要。

13:25 川端会長講評

13:30 終了